

# 「江津市公共施設等総合管理計画（案）」 パブリックコメントの結果について

## 1. 実施概要

- (1) 件名：江津市公共施設等総合管理計画（案）に関するパブリックコメント
- (2) 担当課：管財課
- (3) 意見募集期間：令和8年2月17日（火）から令和8年3月18日（水）
- (4) 意見提出者数：1人
- (5) 意見提出件数：3件

## 2. ご意見と市の考え方（総括）

反映区分	件数
A：意見を反映し、計画等を修正したもの	3件
B：意見が既に計画に反映されているもの	0件
C：今後の参考とするもの	0件
D：ご意見を計画等に反映させないもの	0件
E：その他の要望や質問、感想など	0件

## 3. ご意見の内容と市の考え方

（ご意見については、原文のまま掲載させていただいています。）

整理番号	ご意見の概要	市の考え方	区分
1	<p>計画書にある「有形固定資産減価償却率65.3%」は、資産の老朽化が危機的状況にあることを示しています。特に旧市役所庁舎や旧市民会館等の大規模な未利用施設は、保有し続けるだけで維持費を浪費し、解体単価の上昇により将来の除却負担がさらに膨らむリスクがあります。</p> <p>最新の物価動向を反映した再試算を提示した上で、速やかな解体または民間譲渡のプロポーザルを実施し、将来の財政リスクを最小化すべきです。</p>	<p>未利用施設については、ご意見を受け、P.37「第4章公共施設等の総合的かつ計画的な管理に関する基本的な方針」の「4-2-2 公共施設等の管理に関する実施方針」の「(1) 施設総量・ライフサイクルコストの縮減」に記載している、「利活用の可能性を検討」、「活用が困難な資産は計画的に処分」を実施するとともに、民間への譲渡に向けた提案手続きを実施する旨を計画に追記いたします。</p>	A
2	<p>江津市の自主財源比率の低さを踏まえれば、上下水道や道路等の維持</p>	<p>ICT活用や包括的民間委託については、管理コスト削減の観点から</p>	A

	<p>における一般会計からの繰入抑制は至上命題です。</p> <p>ICT 技術の導入による管理コスト削減や、包括的民間委託等の PPP 手法を積極的に検討し、経営効率を高める具体的目標を明記してください。</p> <p>「事後保全」から「予防保全」への完全移行により、ライフサイクルコストの最小化を徹底すべきです。</p>	<p>有効な手法と認識しており、本計画ではまず他自治体の事例調査や技術動向の把握、費用対効果や適用可能性の整理など、導入に向けた調査・検討を進める方針を追記します。</p>	
3	<p>激動する社会情勢に対応するため、10 年単位の固定的な計画ではなく、柔軟な修正が不可欠です。2?3 年ごとに計画の見直し（ローリング）を行い、コスト変動に応じた最新の試算を公開することを求めます。</p> <p>また、施設の稼働率や、維持保有量が将来の市民負担（市税や公共料金）にどう直結するかを分かりやすく数値化して示し、市民が評価プロセスに直接関与できる仕組みを構築してください。</p>	<p>計画の見直しについては、これまでも国の指針改訂や社会情勢を踏まえて適宜実施しており、今後も必要に応じて柔軟に更新していきます。市民負担の見える化については、ご意見を踏まえ、市民 1 人当たりの将来更新費用を明確にします。また、市民参加の仕組みについては、恒常的な制度化は難しいものの、計画の大きな見直し時の説明機会や、パブリックコメント等の既存手法を通じて、ご意見を伺う機会を確保してまいります。</p>	A